

「研究開発型スタートアップにおける 標準化活動の実態調査・支援」 公募説明資料

2021年7月

研究開発型スタートアップにおいて標準化活動は、**成長の源泉**として特に重要な取り組みです。一方、かかる活動は、技術の公開を伴うほか、各種コストがかかるため、資金力や人的リソースの乏しい**スタートアップにおいて十分に行われていない**と考えられます。



本調査では研究開発型スタートアップにおける標準化活動の促進のために、以下の活動を行います。

- ① スタートアップが実施している標準化活動の**現状を把握**すること。
- ② インタビュー・**実証調査を通じて**研究開発型スタートアップに向けた**標準化活動のガイドライン案を作成**すること。

(1) 研究開発型スタートアップにおける標準化取り組みの現状調査・分析

国内における研究開発型スタートアップの標準化活動の実態をインターネットの情報やアンケート等を元に調査・整理する。また、複数のスタートアップに対してインタビュー等を通じた調査を行い、研究開発型スタートアップの標準化活動の成功事例・失敗事例の収集・分析を行い、仮説を構築する。

(2) 研究開発型スタートアップ支援（実証調査）

(1) で得た結果をもとに、実際に研究開発型スタートアップに対し標準化活動のコンサルティングを実施する。具体的に、標準化活動の支援を希望する研究開発型スタートアップを1社以上見だし、(1) で得た知見のほか、各スタートアップの経営幹部及び関係部門へのヒアリング並びに事業計画等をもとに、標準化活動に係る経営戦略を構築し、提案する。提案後、当該スタートアップに承認された提案内容に基づき経営協力し、成果を上げるよう支援を行う。

(3) 成果報告書の作成

以上の活動で集めた事例や知見を整理し、提言を取りまとめ、成果報告書を作成する。さらに、報告書の中に調査結果を踏まえた研究開発型スタートアップに絞り込んだ標準化活動のためのガイドライン案を含める。

※より現場に役立つガイドライン案作成のため、(2) の実態調査を十分行って下さい。

アップロードする提出書類

Web 入力フォームで以下の①～⑬を入力頂き、⑭に提出資料をアップロードして下さい。アップロードファイル名は、半角英数字とし、アップロードするファイル提出書類毎に作成し、全てPDF 形式で、一つのzip ファイルにまとめて下さい。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力して下さい。再提出の場合は、再度、全資料を再提出して下さい。提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付致します。

入力項目一覧

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①調査名 | ⑩調査目標 |
| ②代表法人番号（13桁） | ⑪提案する方式・方法の内容（要約） |
| ③代表法人名称 | ⑫調査課題（要約） |
| ④代表法人連絡担当者氏名 | ⑬調査実績（要約） |
| ⑤代表法人連絡担当者職名 | ⑭提案額 |
| ⑥代表法人連絡担当者所属部署 | ⑮共同提案法人名（複数の場合は、列記） |
| ⑦代表法人連絡担当者所属住所 | ⑯初回の申請受付番号（再提出の場合のみ） |
| ⑧代表法人連絡担当者電話番号 | ⑰提出書類（（4）提出書類のアップロード） |
| ⑨代表法人連絡担当者Eメールアドレス | |

提出にあたっての留意事項

- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出して下さい。
- 提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- 受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。

応募に関する問い合わせ

応募に関する質問等は7月23日（金）まで電子メールで受け付けます。ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

問い合わせ先

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部 スタートアップグループ 金子、加藤、曾我
E-mail : vc-vb@nedo.go.jp

2021年

公募期間：7月7日（水）～ 7月30日（金）正午

審査期間：8月上旬

採択決定：8月中旬（採択通知後、事業開始可能）

契約締結：9月中旬

質問事項	回答
<p>標準化取り組みの現状調査における、インターネット調査、アンケート、インタビューの比重はどのようなものか。</p>	<p>研究開発型スタートアップにおける標準化取り組みの現状調査は、①業界全体の動向の把握（マクロ調査）と②仮説構築及び実証のプレ調査の目的を含みます。一方、最終目標がガイドライン案の作成にあるため、相対的には②に重きを置いています。</p>
<p>調査対象は国内企業か。</p>	<p>調査対象は国内企業を想定していますが、標準化活動には海外向けも含みます。</p>
<p>標準化取り組みの現状調査と実証調査は順を追って実施しなければならないか。</p>	<p>並行して行って頂いて構いません。</p>
<p>実証調査の始期と終期はいつを想定しているか。</p>	<p>委託契約の開始から終了日までとなります。</p>
<p>ガイドライン案はどのようなイメージを想定すればよいか。</p>	<p>案のため、細かい体裁などの形式は求めません。むしろ、“スタートアップ企業が”標準化活動をする上で真に有益な情報を工夫して記載下さい。例えば、スタートアップ分野別の標準化戦略の在り方、スケジュールの組み方、社内体制・連携のやり方、スタートアップ特有のよくある失敗事例の情報など。</p>
<p>提示されている予算額に消費税は含まれるか。</p>	<p>含まれます。</p>